

 **Softube**

ユーザーズマニュアル

Tonelux Tilt and Tilt Live

ユーザーズマニュアル・バージョン 1.3.16

2013年2月21日版

## Softube ユーザーマニュアル

© 2007-2013. Amp Room は、Softube AB, Sweden の登録商標です。Softube は、Softube AB, Sweden の登録商標です。Valley People Dyna-mite、Trident A-Range、Tonelux、Tilt への視覚と聴覚へのリファレンスは、PMI Audio から書面による許諾を得て使用されている登録商標です。Tonelux、Tilt logo、Valley People、Dyna-mite に関連するロゴ、Trident、A-Range、Triangle のゴロはライセンスに基いて使用されている PMI Audio Group の商標です。Tube-Tech は、Lydkraft ApS, Denmark の登録商標です。すべての仕様は予告なく変更することがあります。無断複写、転載を禁じます。

その他の会社名、および本書に記載されている商品名は、各社の商標、及び登録商標です。他社製品に関する記載は、情報提供のみを目的としており、保証、推奨するものではありません。Softube は、これら製品のパフォーマンス、または使用に関して一切の責任を負いません。

Softube 製品は、特許 SE526523、SE525332、関連する特許/特許 WO06054943、US11/667360、US20040258250、EP1492081、EP1815459、JP2004183976 によって保護されています。

ユーザーへのソフトウェアへの権利は付属のソフトウェア使用許諾契約書(EULA)に準拠します。

## 免責事項

あらゆる努力は、このマニュアルに記載されている情報が正確であることを確認するために行われました。しかし、我々はミスを行っている可能性があり、我々も人間であるということをご理解いただけますと幸いです。ミスを発見した場合、我々にお知らせください。マニュアルの後のバージョンで修正します。

## サポート

Softube のウェブサイト上 ([www.softube.com](http://www.softube.com))では、よくある質問(FAQ)や、様々な他のトピックへの答えを見るけることができます。

サポート的な質問は、<http://www.softube.com> にポストしてください。

我々は出来るだけ速やかにお答えします。Web: [www.softube.com](http://www.softube.com)

E-mail: [info@softube.com](mailto:info@softube.com)

Phone: +46 13 21 1623 (9 am - 5 pm CET)

# もくじ

---

<b>1</b>	<b>ユーザーインターフェイス</b>	<b>5</b>
	メニュー例 .....	5
	キーコマンド .....	6
<hr/>		
<b>2</b>	<b><i>Tonelux Tilt</i></b>	<b>7</b>
	Foreword by Paul Wolff.....	7
	はじめに.....	8
	ユーザーインターフェイス .....	8
	Tilt Live .....	10
	推奨事項 .....	11
	クレジット .....	11



# 1 ユーザー・インターフェイス

Softube プラグインは、“見たそのまま”の製品です。素早く、効率的に操作できるよう直感的に数分以内に使い方を覚えることができます。メニューのような Softube のすべてのプラグインで同じような部分がありますが、それについてはこの章で説明します。プラグインの特定の詳細な情報に関しては、それぞれの章を参照してください。

## メニュー例

プラグインインターフェイスの下部には、いくつかのボタンと細い黒い列があります。ここでは例として、Dyna-mite プラグインを使用しますが、他のプラグインでも同様です。



**Enable:** プラグインをアクティブにします。off にするとバイパスします。

**Setup:** プラグイン全体の設定を変更する場合にはグローバル・オプションを使用します。

**About Box** “About”ボックスを開き、バージョン情報を表示します。

**Value Display** マウスがコントロールしているノブの値を表示します。

## Enable

**Enable** スイッチがオンになっている場合 (i)、プラグインはアクティブになり、オーディオ処理がなされます。オフ (0) にするとバイパスされ、オーディオ処理されません。バイパス時の CPU 消費率はかなり少なくなります。

“About”ボックス

バリュー・ディスプレイ

“Enable”  
スイッチ

セットアップ



## セットアップ

セットアップウィンドウでは、プラグインの特定のインスタンスに影響を与える設定を行います。例えば、Bass Amp Room で “Show Value Display” オプションの選択を解除した場合、プラグインは再びそのオプションを選択するまでシステム上のすべての Bass Amp Room のバリューディスプレイはオフになります。

Windows と Mac の間では、異なるオプションに変わっている場合があります。また異なるフォーマットやプラグインでも同様です。一般的なオプションは以下の通りです。:

Show Value Display: プラグインの下の列でパラメーターと値の表示を有効にします。

Reverse Mouse Wheel Direction: (Mac OS のみ) マウスホイールの上下によってノブを動き動かす際の動作を変更することができます。(Mac OS のみ)

変更を有効にするには、ホストアプリ(DAW)を再起動する必要があります。

もし、何かを台無しにしてマニュアルでこのオプションを設定する必要がある場合は、下記の場所にテキスト形式でそれらを見つけることができます。:

Mac OS: ~/Library/Application Support/Softube

Windows: username¥Application Data¥

## キーコマンド

プラグイン内のすべてのナンバーとラベルをクリックすることができます。これは簡単に希望する値を入力、設定することができます。ラベルの上にマウスを乗せると指差し型のポインターに変更されます。

## マウス

### Up/Down、またはマウスホイール

ノブやスイッチのパラメーター変更方法を選択

## キーボード

### ファインアジャスト ⌘ (Mac)、Ctrl (Win)

パラメーターの値を微調整する場合に使用

### パラメーターのリセット

Alt キーを押しながら、ノブやフェーダーをクリックするとデフォルト値にリセットされます。

## プラグインの特定のキーコマンド

多くのプラグインでは、いくつかの追加機能を得るために Shift スイッチを押しながらノブやスイッチをクリックします。

### Metal Amp Room

Shift + クリックしながらマイクをドラッグすると両方のマイクを動かすことができます。

### すべての Amp Rooms

Shift を押しながらキャビネット(またはアンプ)のバックグラウンドをクリックするとアニメーション無しで変更することが可能です。

# 2 Tonelux Tilt

## Paul Wolff による前書き

MP1 と MP1a ミイクプリアンプでの TILT コントロールの成功の後、ラックマウント・ユニットが Tonelux プロダクトラインの素晴らしい新製品となると感じました。フェイズ切替を持つ、8 チャンネルユニットで、入出力の利便性を考え、D-Sub 端子を採用することにしました。

いくつかのセッションで TILT マルチラック・ユニットを使用した時に、とても使いやすく、スムーズで、艶やかなサウンドを作ることができ、いい意味でショックを受けました。

ベースから、オーバーヘッドや、ギター、ボーカルに至るまで多くのサウンドに試し、1つのノブによって論理的な動きを得ることがプラグインを設計する目的でした。設計している時に Softube と Tonelux は、いくつかの追加機能を与えることがモジュールにとって良いことであると考えました。

我々は、Tonelux プロダクトでトランスをモデリングすることにし、スムーズなハイ/ローパス・フィルターも加えることにしましたがそれだけでは問題を解決するほどの能力を持ちませんでした。そこで、TILT ノブにラウドネス機能を追加しました。これは、エンジニアが高域と低域の両方を同時にブーストすることができ、ポストプロダクションの多くで使用されるラウドネス・コントロールのようなポジショニングの遠近をシミュレーションすることができます。

これまでのところ、数人にサンプリングをしましたが、“十分な艶が得られ、美しい”、または“こ

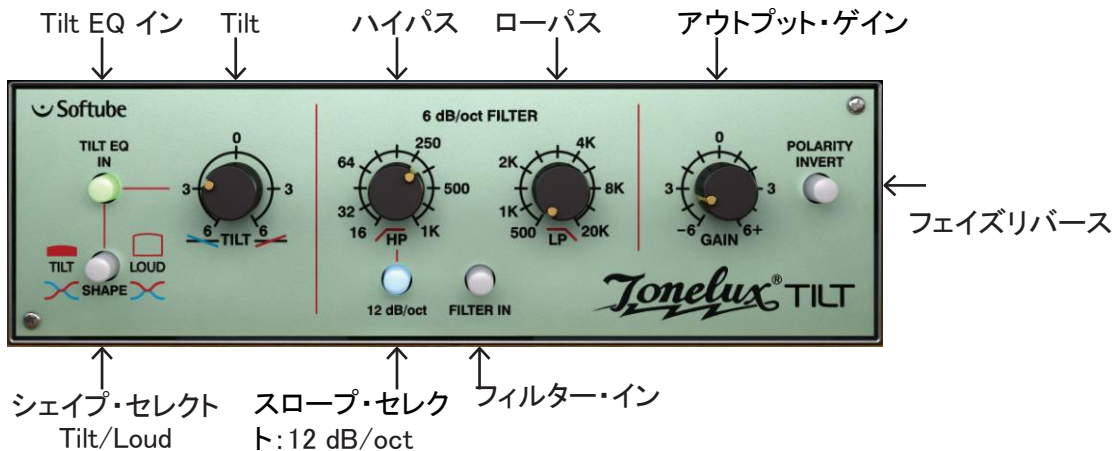


れを使うだけで美しいサウンドになる。”といったコメントが得られています。

トレードショーで TILT ラック・ユニットを展示した際、ライブバージョンの検討を行うことが示唆されました。これはいくつかの特徴を加え、ブーストを制限しますが、TILT 効果を維持する方法であった。そして最大のブースト量を維持したまま、不要なフィードバックを防止するために独自の“BOOST CEILING”コントロールを思いつきました。”インイヤー・システムを採用してモニタリングをいれる時に良い効果を得られます。複雑な EQ や各チャンネルに個別の EQ をすることなく耳の疲労を軽減します。

“ラウドに”、“クリアな”サウンドが得られます。

Paul Wolff  
設計者、Tonelux 創設者



## はじめに

TONELUX TILT プラグインは、デジタルの世界に Tonelux のサウンドを再現するために Tonelux のデザイナー、Paul Wolff と Softube が共同開発を行いました。画期的な Tilt 設計が最初の Tonelux MP1a ディスクリット・マイクプリアンプで特徴とされ、これらのサウンドを素早く、効果的にコントロールする必要があるプロデューサーや、エンジニアにとって便利なものでした。多くの場合、Tilt ノブは、トラックがミックス内でより良いポジションに置き、トラックを“ウォーム”、または“クール”にさせるすべてを備えています。それは耳の疲労を避けるために、全体のミックスを微調整する必要があるライブ環境に最適です。

TILT プラグインは、オリジナルの TILT のデザインや機能だけでなく、いくつかの新機能が盛り込まれています。TILT プラグインの“Live”バージョンは、DIGIDESIGN VENUE システムで使用するために最適化されており、ライブサウンド・エンジニアによって望まれる機能が含まれています。TILT は MP1a マイクプリアンプにあるトランスのモデリングも含み、それはトラックのローエンドを太くし、低域周波数に繊細な歪みを加えます。

## ユーザーインターフェイス

TILT は、素早く簡単に最適なサウンドが得られることを目的としています。インターフェイスは、望ましいサウンドを得るためにフレキシブルで、パワフルなコントロールを行える 3 つのセクションから成り立っています。

最初のセクション: Tilt EQ In、Shape、Tilt

2 番目のセクション: High Pass、Low Pass  
12 dB/oct、Filter In.

3 番目のセクション: Gain、Polarity Invert.

素早くミックスしたいですか？その時は、ミックスの各トラックに TILT をインサートしてみてください。多くのシーンで必要とする唯一の EQ であるとわかるでしょう。



## Tilt セクション

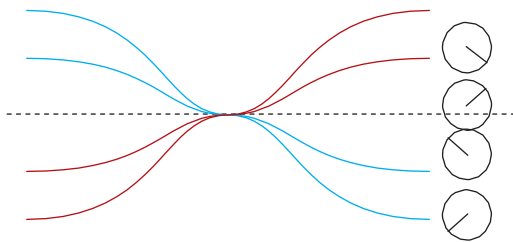
Tilt セクションは、チルトスタイルの EQ で構成されており、SHAPE スイッチによって Tilt/Loud イコライザーを切り替えることで、チルトスタイル、またはラウドネスイコライザーを切り替えることができます。そして最後にイコライゼーション量を Tilt ノブで調整します。

Tilt ノブを使用する場合、少なめの方がより良い効果を得られます。例えば、高周波数をカットする際は、低周波数をブーストしていることが認識できるということを覚えておいてください。Tilt ノブを使用するとこのような二重の効果を得られます。

### Tilt イコライゼーション

Tilt コントロールは、ノブを少しひねるだけでトラック全体のサウンドのバランスをブライトで輝くようなサウンドからウォームでワイドなローエンドまで再調整します。

Tilt のフィルターは、周波数の一端を下げた場合、その反対側を上げるように形成され、このように特定の周波数をカットします。

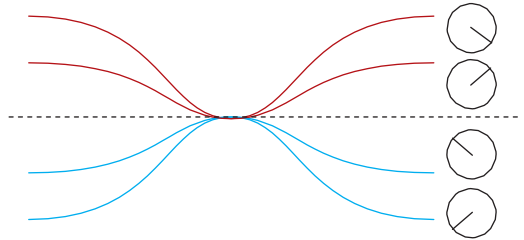


*Tilt shape* モードで Tilt ノブを右回りいっぱい(4 時)にすると高周波数帯のブーストと低周波数帯のカットが得られます。

このイコライザーの中心周波数を慎重にマテリアルの広いレンジで動作するように設定すると、過激なブーミーサウンドにせず、サウンドをやさしくフィルタリングすることを目的としています。フィルターのゲインは 0~6 dB です。

## ラウドネス・イコライゼーション

Shape ボタンを押し、LED が消灯すると Tilt ノブの機能は、Tilt から Loud に変更されます。Loud では、時計回りにノブを回すと、高域と低域の両方をより強調し、反時計回りに回すと両方を小さくするようにラウドネスコントロールとフィルターのシェイプを変更します。



*Loud shape* モードで、Tilt ノブを右回りいっぱい(4 時)にすると、高周波域と低周波域の両方をブーストします。

Loud コントロールを min ~ max まで回すことで音が遠くから近くにまでクローズアップさせるような左角を与えることができます。これはポストプロダクションで使用する際に便利な Effect です。

EQ In ボタンをオン/オフさせることで Tilt/Loud フィルターの A/B 比較を簡単に行うことができます。

セパレートする必要があるサウンドには、ことなるセッティングで Loud フィルターを使用してください。例えば、互いに邪魔になっているギタートラックとドラムトラックがあると想像してください。Loud フィルターでドラムをブーストし、ギターをカットして周波数が当たらないように調整し、ミックスの中に 2 つを存在させることを可能にします。

## フィルターセクション

2つのフィルターからなるフィルターセクションは、サウンドを形作る他に、問題のある周波数を取り除くのに役立ちます。ローパス・フィルターのカットオフ・フリークエンシーは、16Hz ~ 1kHz までを 6dB/オクターブのスロープでアッテネーションします。12 dB/Oct スイッチを使用すると、12dB / オクターブのアッテネートを行います。

ハイパス・フィルターのカットオフ・フリークエンシーは、20 kHz ~ 500 Hz までを 6dB / オクターブのスロープでアッテネーションします。

HP/LP フィルターは、Filter In ボタンでフィルターのオン/バイパスを切り替えることができます。

## アウトプットセクション

使用している TILT のバージョン(TILT、または TILT LIVE)に応じて、アウトプットセクションのノブの名称は Gain コントロール、(TILT)、または Boost Ceiling コントロール (TILT LIVE) のいずれかになります。Boost Ceiling については、TILT LIVE のセクションで説明します。

Gain コントロールは、標準のメイクアップゲインを -6 dB ~ +6 dB の間でコントロールします。

Polarity Invert ボタンを押す(点灯)と位相を反転させます。

## Tilt Live

TILT LIVE プラグインは、Avid の VENUE システムに最適化されており、ライブサウンド・エンジニアに必要とされる機能が含まれています。TILT LIVE バージョンは、DSP パワーを維持するためにトランスパワーをモデリングせず、Boost Ceiling を特徴としています。

インイヤーシステムなどを使用時に耳を被露させずに実際のボリュームを変えることなくミックスを調整したい場合、TILT LIVE

システムは最適です。



通常の動作モード (Boost Ceiling をフル) では、Tilt/Loud 回路は、通常の TILT プラグインのようにいくつかの周波数をアッテネートしつつ、他の周波数をブーストします。周波数をブーストするとライブモニター・システムでフィードバック(ハウリング)を起こす可能性があるため、ライブで使用時にはこれは欠点となりえます。

Boost Ceiling を最小に設定することで 0 dB にブーストが制限され、まったくブーストされないように設定可能です。TILT LIVE プラグインでどのようなセッティングをしてもどの周波数をブーストすることがありません。

ステージ上のモニターシステムにとって TILT LIVE は、ボリュームを上げることによってフィードバックを起こす危険を犯すことなくミックスのバランスを整えることができます。

## Boost Ceiling

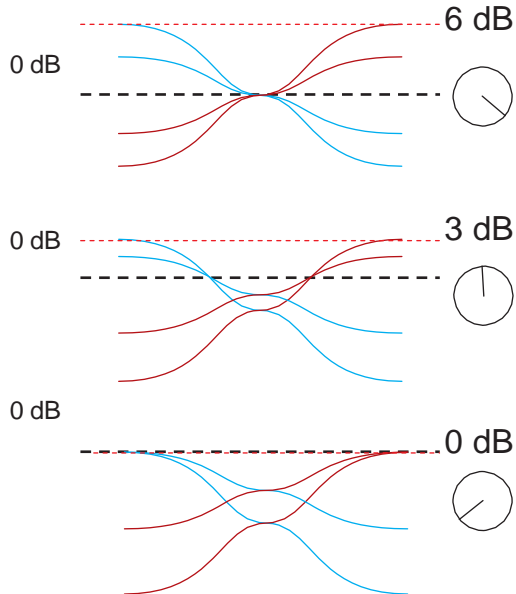
TILT LIVE を使用する際の Gain コントロールは、Boost Ceiling コントロールに置き換わります。

Boost Ceiling コントロールは、Tilt フィルターの Boost Ceiling セッティングに応じて異なる動作をします。

Boost Ceiling の値が最小の場合、オーディオ・レベ

ルは増幅されません。フィルターのシェイプは同じ形状になりますが、常に 0 dB 以下です。

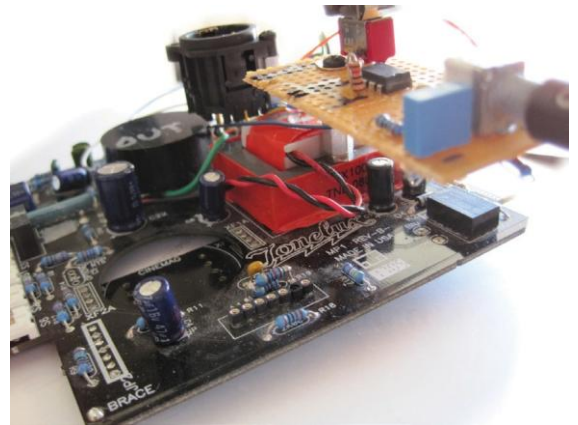
**Boost Ceiling** が最大に設定されている時は、通常の TILT として機能します。途中で設定した場合、いくらかの周波数ブーストを行います。ダイヤルした値よりも多くはなりません。



*Boost Ceiling* ノブの異なるセッティングによる TILT フィルター・カーブ。上段: "インイヤー"セッティング(6 dB)。中段: 3 dB、下段 0 dB ; ウェッジ・セッティング

## 推奨事項

TILT と TILT LIVE プラグインは 1 つのハードウェアに基いていません。設計者の Paul Wolff は、TILT モジュールのプラグイン・バージョンのために追加機能を作成しようと、これら 2 つのプラグインのプロトタイプを設計しました。しかし、ハードウェア・パッケージの TILT コントロールを探している場合、TILT フィルターを備え、素晴らしいサウンドを持つ Tonelux MP1A、または 8 チャンネル Tonelux TILT ラックユニットをお勧めします。



ここに Tonelux による 8 チャンネル TILT ユニットや Paul Wolff によるプロトタイプの写真があります。これはプロトタイプですが、しかし素晴らしいサウンドがします。

## クレジット

Niklas Odelholm - モデリング、Oscar Öberg - DSP プログラミング、Torsten Gatu - フレームワーク・プログラミング、Arvid Rosén - フレームワーク・プログラミング、Ulf Ekelöf - 3D レンダリング、オリジナルハードウェア・デザイン Paul Wolff at Tonelux

**softube**

SoftubeAB, St Larsgatan 10c, 582 24 Linköping, Sweden. [www.softube.com](http://www.softube.com)